

# 事務事業チェックシート

事務事業No 事業名  
**462 和歌山公園管理事業（南別館）**

[事業基本情報]

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	3	観光の振興
施策	1	観光客受入体制の整備
基本方針	3	和歌山公園の整備・管理運営の充実

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		観光費	
	目		和歌山公園管理費	
	大事業		和歌山公園管理事業	
事項		和歌山公園管理事業（南別館）		

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	H20	～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	和歌山城整備企画課	山口 浩司 (435-1044)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
	○			
44の約束	和歌山城の魅力アップ（伏虎中学校・児童女性会館跡地・扇の芝の一体整備、ジョギングコース整備、駐車場増設など）			

## 1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	環境の良い職場で効率よく職務に従事することにより、より一層市民サービスの向上につなげていく。	施設の老朽化に伴う施設修繕や耐震改修などを含めた、庁舎南別館の維持管理及び（仮称）和歌山城歴史資料館の管理運営を行う。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		需用費等の維持管理経費の支出行為	需用費等の維持管理経費の支出行為 耐震及び改修工事	需用費等の維持管理経費の支出行為 耐震及び改修工事 和歌山城歴史資料館展示委託業務 観光物産センター跡地整備事業	需用費等の維持管理経費の支出行為 観光物産センター跡地整備事業	需用費等の維持管理経費の支出行為

## 2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費	9,414	12,874	346,261	134,421	191,597					
	伸び率 (%)	-	-	3578.1%		-44.7%		-100.0%		-	
	人件費	常勤職員	4,122	4,190	4,128	4,154	4,154				
		非常勤職員	1,001	994	982	1,703	1,703				
		小計	5,123	5,184	5,110	5,857	5,857				
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債		2,700	291,000	87,900						
	その他				11,739	5,860					
	一般財源（税等）	9,414	10,174	55,261	34,782	185,737					
	所要人数	常勤職員	0.56	0.55	0.55	0.56	0.56				
		非常勤職員	0.19	0.19	0.19	0.87	0.87				
主な予算内訳	（仮称）和歌山城歴史資料館展示その他委託料（179,155千円） 光熱水費（4,273千円）										

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	旧南別館修繕件数					年度目標値				
						実績値	12	2		
	単位	件	全体目標値		全体目標達成度					
						年度別達成度				
						年度目標値				
					実績値					
					年度別達成度					
成果指標	南別館耐震改修工事進捗率					年度目標値	100	100		
						実績値	52.6			
						年度別達成度	52.6%			
						年度目標値				
						実績値				
	単位	%	全体目標値	100	全体目標達成度	52.6%				
					年度別達成度					
					年度目標値					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	平成27年に開催される和歌山国体を視野に入れ、南別館の資料展示室の改修に伴う耐震改修とその周辺整備を行わなければならない。(平成27年度耐震改修及び周辺整備工事終了予定)
「見直し」 「改善」案	現行の資料展示室をより充実したものにするため、耐震計画の策定や空調設備の計画的な入れ替え等を行っていく必要がある。 平成28年度からは、需用費、役務費等の維持管理経費と展示等の委託料等の経費となる。